



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

全労連・全国集会2011を開催

全労連全国集会は、11月19日から21日静岡県浜松市で20単産47地方組織から700人以上が参加。集会は全労連運動を各産別・地方で、闘いの到達点を共有し、次の10年間にむけた展望を語り、組織を飛躍的に発展させるために大いに議論する場として10年ぶりに開催されました。

★ 白熱！！青年分科会



★ 20日の青年の分科会は、49名が参加。“理想の職場目指して”“今の職場、変えるためにはどうしたら??”“おおいなる飛躍を目指して!”の3つのテーマにそった計6本の報告をきっかけとして、小グループで自由討論を中心すすめました。討論の中では、「現状に満足している若者は増えているが、年金・社会保障など将来に不安を持っている。青年の思いを把握することが大事」「仕事も忙しいが、集まっている人々と交流し仲良くなる、考えを言い合うことで成長していく」など課題や悩み、思いを出し合い、その打開方法を探ることのできる討論となりました。

分科会の最後は、青年運動の前進を展望し各グループで寸劇を熱演。極悪な“極楽商会”に対し立ち上がる労働者、2020年を想像して「最賃が1500円、人間らしく働いています」「行政は保育園を十分に増やし子育てを応援」と明るい未来を目指してガンバローと訴える寸劇、素朴な要求を企画にすることで多くの組合員の結集を勝ち取る、など会場は笑いの渦のなか未来を展望しながら改めて職場・地元に戻って頑張ろうと励ましあうものとなりました。20日の夜には青年交流会を開催し、日々の仕事の疲れも忘れて遅くまで盛り上がりました。

★ 労働組合は仲間づくり

★ 翌日（最終日）の全体会ではパネルディスカッションに対して決意表明を含めて青年分科会の参加者がフロア発言。分科会の討論を踏まえ「残業代を出してください!」「有休をください!」「正規社員にしてください!」「産休・育休をください!」「ボーナスをください!」「時給を、上げてください!」という素朴な声を紹介しながら、「青年がいない組織は、未来がありません。労働組合は仲間づくり。仲間づくりは、人との出会い・人とのつながり。先輩の背中を見て後輩は成長していきます。そして、私たちがブレてしまったら、周りや後輩はついてきません。人との出会いと、人とのつながりを、今後も大切に活動していきます。」と訴えました。

★ 明日からの活動の力に

参加者からは「実践したいと思う色々な意見が聞けた」「普段、誰にも言えない悩みを言えて、共感し合えて、本当に気持ちが楽になった」「たくさん話せたし、絆ができた」「先輩方も参加して直接若者の声を聞いてほしかった」「日々の運動のモチベーションが上がった」などの感想が寄せられた。